

眼のGVHDについて

移植片対宿主病（GVHD）によって涙の分泌が減り（ドライアイ）、眼の表面（角膜）に傷がつきやすくなります。眼の周りの粘膜や皮膚に炎症がおきることもあります。

【主な症状】

目が乾く・ゴロゴロする・視界がぼやける・光がまぶしい・痛み・灼熱感・目ヤニが増える・充血する・眼の周りが赤い、腫れている

このような症状がある場合は、主治医に相談し、眼科医の診察を受けましょう。

主な治療法

水分を補う	人工涙液点眼（ソフトサンティア®など） ヒアルロン酸点眼（ヒアレイン®など）
涙の質を改善する	ジクアホソルナトリウム点眼（ジクアス®） レバミピド点眼（ムコスタ®）
角膜や結膜の炎症を改善する	ステロイド点眼
涙の排出を抑える	涙点プラグ
傷ついた角膜を保護する	治療用コンタクトレンズ



人工涙液



ヒアルロン酸

ジクアホソル
ナトリウム

レバミピド

- 回数が決められている薬は指示の通りに点眼しましょう。
- 人工涙液、ヒアルロン酸点眼は回数が多すぎると涙の質がかえって不安定になります。多くても1日10回程度にとどめましょう。
- 人工涙液・ヒアルロン酸点眼は防腐剤（塩化ベンザルコニウム）が含まれていないものを選びましょう。
- ステロイド点眼は長期使用において感染症・白内障・眼圧上昇などに注意が必要です。かならず医師の指示において使用しましょう。

ご不明な点はLTFU外来担当者までお尋ねください

2021年3月4日



【正しい点眼のしかた】

- ① 下まぶたを軽くひき、1滴を点眼します（容器の先がつかないように！）
- ② 静かにまぶたを閉じ、あふれた薬液はきれいな布で拭いてください。
- ③ そのまま数分、まぶたを閉じたまま待ちましょう。

【複数の点眼薬を使用するとき】

- 前の薬剤が洗い流されないように、次の点眼まで5分以上あけましょう。
- ヒアルロン酸と人工涙液を併用するときは先にヒアルロン酸を点眼し、あとから人工涙液を点眼すると保水性が高まります。
- ジクアホソルナトリウムはヒアルロン酸の前に点眼したほうがよいとされていますが、点眼による刺激が辛い場合はヒアルロン酸を先に点眼してください。



しみるときは、
逆の順番でもOK！

【日常生活の注意点】

- 長時間のパソコン作業・テレビ視聴はまばたきの回数が少なくなり、眼の乾燥を助長させます。適度に休憩しましょう。
- 眼の乾燥を防ぐために、メガネやドライアイ用ゴーグルが効果的な場合もあります。
- コンタクトを使用しているときのドライアイには人工涙液がよいですが、そのまま使用をつづけて問題ないか眼科医と相談しましょう。
- ホットマスクや蒸しタオルで眼の周りを温めてみましょう。温めたあとに、眼の周囲を軽くマッサージすることもお勧めです。
- オメガ3脂肪酸が涙の質を改善するという報告もあります。青魚、マグロ、菜種油、アマニ油などに多く含まれています。ただし、取りすぎには注意しましょう。



参考資料：ドライアイ診療ガイドライン
(2019年5月 日本眼科学会誌123巻5号)

